

k - ふれあいネット

上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町1664-1

0289-62-7167

地域連携教員研修

7月31日(金)の「上都賀地区地域連携教員等研修会(兼上都賀地区現職教員社会教育主事会第1回研修会)」では、地域連携教員としての各学校での取組について発表をしていただきました。

日光市立今市第三小学校教諭、諸橋順子氏からは、学級担任として地域連携教員を担うための工夫や、学校支援地域協議会を生かした学校支援ボランティアの取組事例について、鹿沼市立みどりが丘小学校教諭、石川寿江氏からは、教務主任としての地域連携教員の取組、「学校と地域のピアサポート活動の推進」を通じた地域との連携における様々な取組について、日光市立小林中学校教頭、斎藤修氏からは、地域との連携における学校内外の役割や課題に対して、教頭として職員や地域とどのように関わり合いながら取り組んでいるかについて、それぞれ紹介していただきました。今回は教諭、教務主任、教頭とそれぞれの立場で地域連携教員としての取組を発表いただき、参加者がそれぞれの立場で今後の取組の参考としていただけるよう実施しました。



【参加者の感想から】

- ・地域連携教員としてやるべきこと、まかせるべきことなどが具体的に分かった。
- ・実践事例を、自分なりに学校の実態に合うようにして2学期以降実践していきたい。
- ・管理職、地域連携教員が明確な方針をもち、学校全体で進めていくことが大切だと感じた。



グループ協議では、2学期からの『次の一歩』を考えようというテーマで各校における地域連携をより充実させるための具体策を考えました。参加者からは、「同じ立場で話し合いができたので、意見交換が活発にできた」「グループ協議ではたくさんのアイデアや発見があったよ」「2学期から取り組めるアイデアがうかび、具体的な活動ができそうだ」等の感想が寄せられました。各校における今後の取り組みが期待されます。



とちぎ子どもの未来創造大学



夏季休業中に鹿沼市、日光市において、「とちぎ子どもの未来創造大学」出前講座が行われました。「とちぎ子どもの未来創造大学」とは、その場所でしか見たり体験したりできないことなど「本物」に触れる学びや専門家の先生方の授業などを行う、小中学生のための学びの場です。(今年度は県内で130講座を実施)地区内の子ども達も気軽に参加できるように、鹿沼市では宇都宮地方気象台の「体験気象学」を、日光市では埋蔵文化財センターの「地域の歴史を学ぼう」、富士重工の「飛行機はなぜ飛ぶの」の3つを出前講座として実施しました。「体験気象学」では、天気の変化や大気現象について、実験を通して学び、「地域の歴史を学ぼう」では、本物の土器に触れたり、縄文時代の布づくり(アンギン編み)を行ったりできました。「飛行機はなぜ飛ぶの」では、飛行機の飛ぶ仕組みを学んだり、模型飛行機を作成したりしました。どの講座でも子ども達が目を輝かせながら、本物に触れて、学ぶ機会を持つことができ、興味、関心をさらに深めることができた様子でした。



体験気象学(宇都宮地方気象台)

地域の歴史を学ぼう
(埋蔵文化財センター)

飛行機はなぜ飛ぶの(富士重工)

上都賀地区 P T A 指導者研修

「豊かな心をそだてる P T A 活動」をテーマに、7月10日（金）日光市中央公民館にて開催いたしました。

「いじめを許さない社会へ、これから、私たちにできること」という演題で特定非営利活動法人ジェントルハートプロジェクト理事の大貫隆志氏に講演をいただきました。大貫氏は、指導死（高文研発行）の著者としても著名な方であり、学校教育と学校の中で行われがちないじめをよく研究されており、いじめ解消には、学校教育の努力だけでは限界があると感じておられます。御自分の経験と研究されていること等を聴衆にも分かりやすいように噛み砕いた内容にしてくださって、「いじめをする側の心のケアの大切さ」「家庭教育がいじめ問題と深く関係があること」等の御講演をいただくことができました。

講演を通じ、地域、家庭・保護者がどのように学校に協力していけるのかの示唆と考える機会を与えてくれたと思います。

また、講演会の後には、各単位 P T A を中学校区に分け、話し合いを行いました。昨年実施した研修会で話し合われたこと、昨年度中に学校で実施したことや今年度の努力点等と事務所に御報告いただいた内容をもとに、今年度のテーマ「今の私たちにできること」を考えていただきました。出席してくださった方々は、積極的な話し合いをしてくださいました。昨年度中に取りまとめた活動をさらに具体的な取り組みとして話し合うことで、今後のいじめ問題解消の具体的な行動につなげていけるのではないかと考えました。

充実した話し合いができたというグループが多かったのですが、中学校区で協議を行ったので、他の研修会でも同中学校区で話し合いが行われている地域もあり、違う校区の学校の方とも意見交流したいという意見もありました。来年度の課題としたいと思います。

講演や話し合いで考えた具体的な取り組みを実践し、また、いじめについて関心を切らずに家庭・地域・学校が連携していけるよう期待しています。

以下には、参加いただいた方々の感想を紹介します。

- ・いじめは昔からあり、親である私たちが子供をよく見て守らないといけないと思いました。いじめている子供も、いじめられている子供も身近に相談できる場所が必要だと思いました。
- ・子供とのコミュニケーションをとろうと思いました。どうしても仕事が忙しく、あれやこれやと言うだけで子供が学校でどんな生活をしているのか、友達との関係を聞いてあげられていないことに気づかされました。
- ・「大人が幸せなら、子供が安心して生活できる」というのは、その通りだと思いました。加害者の子の家庭環境は影響が大きいこともわかりました。指導者も指導の仕方に気を付ける必要があると感じました。
- ・具体的ないじめについての講演内容だったので、改めていじめは怖いと思いました。親から見えない部分、また、学校でも気付かれない部分、子供たちの性格など様々な観点から解決方法を導き出していかなくてはならないことに驚かされました。



研修会の御案内



上都賀地区親学習プログラム指導者フォローアップ研修

平成28年2月3日（水）午後

鹿沼市民情報センター

詳細については

上都賀地区ふれあい学習ネットワーク

別途お知らせします。

平成28年2月5日（金）午後

鹿沼市民文化センター

上都賀地区の社会教育・ふれあい学習に関する情報は・・・

上都賀 ふれあい

検索